



主な検査項目の紹介



2020年4月
臨床検査科

血液学的検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
RBC Hb Ht	赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット	貧血や多血、出血の状態などを反映します。また、輸血の可否、効果判定にも用います。
WBC	白血球数	白血病や炎症、感染症などの状態を反映します。
Neutro Lympho Mono Eosino Baso	好中球 リンパ球 単球 好酸球 好塩基球	白血球は主に好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球の5種類に分類されます。各血球の形や個数の割合、またその増減を調べることで種々の疾患を診断する手掛かりになります。
PLT	血小板数	出血傾向や感染症、肝機能などの状態を反映します。
PT APTT	プロトロンビン時間 活性化部分トロンボプラスチン時間	出血傾向や肝機能、血友病などの状態を反映します。また、ワーファリンなどの薬物による抗血栓療法の効果を判定するためにも用います。
Fib	フィブリノーゲン	出血傾向や感染症、肝機能などの状態を反映します。
FDP Dダイマー	フィブリノゲン・フィブリン代謝産物 Dダイマー	血栓の状態をみるために調べます。播種性血管内凝固症候群（DIC）や静脈血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）などの状態を反映します。
赤沈	赤血球沈降速度	血液中の赤血球が沈む速度を調べます。感染症などで高値になります。

生化学的検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
T-Bil D-Bil	総ビリルビン 直接ビリルビン	肝・胆道系疾患や血液疾患の場合、高値になります。「黄疸」の原因です。
AST (GOT) ALT (GPT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ アラニンアミノトランスフェラーゼ	肝臓の障害や壊死などを反映します。
ALP	アルカリフォスファターゼ	肝・胆道系疾患や悪性腫瘍、妊娠、小児の成長期などで高値となります。
LDH	乳酸デヒドロゲナーゼ	心筋や肝臓の疾患、悪性腫瘍などで高値になります。
γ-GTP	ガンマグルタミルトランスフェラーゼ	アルコール性肝障害、一部の薬剤性肝障害のほか、肝・胆道系の疾患などで高値になります。
ChE	コリンエステラーゼ	肝障害や栄養失調などで低値になります。
CK	クレアチニンキナーゼ	筋肉の障害を反映し、激しい運動後は高値になります。
CK-MB	クレアチニンキナーゼMB分画	主に急性心筋梗塞や不安定狭心症で高値になります。
Amy-S	アミラーゼ	膵臓や唾液腺に多く含まれる消化酵素です。主に膵臓の障害で高値になります。
略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
リパーゼ	リパーゼ	急性膵炎などで高値になります。
Alb TP	アルブミン 総タンパク	肝障害や栄養失調などで低値になります。全身の健康状態を判断するのに有用な検査です。
NH3	アンモニア	肝性脳症、肝硬変、劇症肝炎などの状態を判断するために有用な検査です。
BUN Cr	尿素窒素 クレアチニン	どちらもタンパク質の最終分解産物で、主に腎臓の機能を反映します。
eGFRcre	推算糸球体ろ過量	血中クレアチニンから推定される腎機能の指標です。18歳以上に適応され、数値によってG1、G2、G3a、G3b、G4、G5のCKDステージに分類されます。数値が大きいほど腎機能は悪くなります。
UA	尿酸	DNAの最終分解物です。高値は通風の原因になります。
Zn	亜鉛	全身の栄養状態を反映します。



主な検査項目の紹介



2020年4月
臨床検査科

Na K Cl	ナトリウム カリウム クロール	体液水分量や浸透圧の状態を反映します。NaやClは主に食塩（NaCl）、Kは野菜や果物から摂取されます。
Ca	カルシウム	Caの99%以上は骨や歯に存在します。血中Caは様々な生体機能に関与し、骨粗しょう症をはじめ、様々な疾患で値が変動します。
IP	無機リン	腎不全、内分泌疾患や骨代謝異常などの状態を調べるために有用な検査です。
Fe TIBC UIBC	鉄 総鉄結合能 不飽和鉄結合能	血中の鉄分の状態を反映します。鉄欠乏性貧血をはじめとする種々の貧血、鉄代謝異常の診断に用います。
TG	中性脂肪	脂質代謝を調べる重要な検査の一つです。脂肪の多い食事摂取で高値となります。
Tcho HDL-C LDL-C	総コレステロール 高比重リポ蛋白コレステロール 低比重リポ蛋白コレステロール	TGと同じくTchoは脂質代謝異常を反映します。LDL-Cは、悪玉コレステロールとも呼ばれ、動脈硬化の危険因子です。反対にHDL-Cは、善玉コレステロールとも呼ばれ、動脈硬化の予防因子です。
血糖	空腹血糖 随時血糖	糖尿病の診断や治療効果の判定に用いられます。食事の影響が大きく、10時間以上の絶食後に測定したものを「空腹血糖」それ以外を「随時血糖」と呼び区別します。
HbA1c	ヘモグロビンエーワンシー	血糖と共に、糖尿病の診断や治療効果の判定に用いられます。過去1～2か月の平均の血糖の状態を反映します。

免疫血清検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
フェリチン	フェリチン	体内の鉄貯蔵量を反映し、種々の貧血、鉄代謝異常の診断に用います。
トロポニンT	トロポニンT	主に急性心筋梗塞や不安定狭心症で高値になります。
CRP	C反応性タンパク	種々の急性炎症で高値となり、全身状態の指標になります。
RF	リウマトイド因子	関節リウマチをはじめとする種々の自己免疫性疾患で高値となります。
ASO	抗ストレプトトリジン-O抗体	主にA群溶連菌感染症で高値になります。
IgG IgA IgM	免疫グロブリンG 免疫グロブリンA 免疫グロブリンM	免疫グロブリンは血液や体液に存在する抗体の機能を持つタンパク質で、IgG、IgM、IgA、IgD、IgEの5種類のサブクラスに分類されます。体内の免疫活性化の状態を反映します。

ホルモン検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
TSH FT3 FT4	甲状腺刺激ホルモン 遊離トリヨードサイロニン 遊離サイロキシシン	バセドウ病や橋本病をはじめとする甲状腺関連疾患などの診断、治療効果の判定に有用な検査です。
CPR	Cペプチド	体内のインスリンの分泌能力を反映し、糖尿病の診断、治療効果の判定に用いられます。
HCG	ヒト絨毛性ゴナドトロピンβサブユニット	妊娠や一部の悪性腫瘍（卵巣がん、精巣がん）で高値になります。
BNP	脳性ナトリウム利尿ペプチド	主に心不全の診断、予後の判定に有用な検査です。
INT-PTH	インタクト副甲状腺ホルモン	副甲状腺機能を調べる検査です。腎不全患者さんでは骨ミネラル代謝異常によって、二次性にPTHが高値になる場合があります。



主な検査項目の紹介



2020年4月
臨床検査科

腫瘍マーカー検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
CEA	がん胎児性抗原	大腸がん、胃がん、膵がん、肺がんなどで高値になります。臓器特異性が低い腫瘍マーカーです。
CA15-3	糖鎖抗原15-3	主に乳がんが高値になります。
CA19-9	糖鎖抗原19-9	主に膵がん、胆のう・胆管がんをはじめとする消化器のがんで高値になります。
CA125	糖鎖抗原125	主に卵巣がんが高値になります。
PSA	前立腺特異抗原	主に前立腺がんが高値になります。

感染症検査

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
RPR TPAb	脂質（カルジオリピン）抗原法 梅毒病原体（TP）抗体法	梅毒に感染しているかどうかを抗体の有無によって調べる検査です。
HBsAg	HBs抗原	B型肝炎ウィルス（HBV）感染状態を示します。
HBsAb	HBs抗体	ワクチン接種等でHBVに対する感染防御抗体を獲得していることを示します。
HBcAb	HBc抗体	過去のHBV感染（既往感染）を示します。
HCV	HCV抗体	C型肝炎ウィルス（HCV）感染状態、または過去の感染（既往感染）を示します。
HIVAgAb	HIV抗原抗体	AIDS（後天性免疫不全症候群）の原因であるHIV（ヒト免疫不全ウィルス）の感染を示します。

一般検査（尿・便）

略名	項目名	説明（記載内容がすべてではありません）
蛋白定性	尿蛋白	腎臓や尿路系の異常の有無を反映します。
糖定性	尿糖	糖尿病をはじめとする糖代謝異常を反映します。
潜血定性	尿潜血	腎臓や尿路系の異常の有無を反映します。
ウロビ定性	ウロビリノーゲン	肝臓や胆のうの異常の有無を反映します
尿沈渣	RBC形態 赤血球 白血球 上皮細胞 細菌 円柱	有形成分（赤血球、白血球、細菌、円柱など）の有無を顕微鏡で観察することにより、腎臓や尿路系の疾患の診断に役立ちます。
便潜血	便潜血	消化管の潰瘍やがん、消化管出血のスクリーニング検査として行われます